

令和4年度学校評価（最終）に係る外部評価者の意見

比治山女子中学・高等学校

【外部評価者の意見等】

項目	意見等
学校評価に係る意見・質問	<p>【目標の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○評価指標は、可能な限り数値目標を設定する。 ○数値を設定する際に、過去の数値の推移を分析し、努力すれば達成可能な数値目標を立てる。また、あるべき姿・ゴールを明らかにした上で数値目標を掲げる。 ○目標は、生徒の成長の姿を描いて立てる。 ○できて当たり前のことは目標に掲げない。 ○生徒アンケートを分析し、生徒自身が達成すべき目標を設定することを検討する。 <p>【具体的方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○評価指標が数値目標の場合、具体的方策との関係が明らかで評価しやすい。逆に目標がいまいな場合は、具体的方策との関係が不明確で、妥当性を評価するのが困難である。 ○目標が多いと方策も多く多岐にわたることになる。目標は重点的なものに絞り、方策は優先順位の高いものに絞る。 <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「B」評価を下回る自己評価はない点が成果として考えられる。改善策が明示されているので、PDCAサイクルが機能しやすい。 ○改善策について何をどのように変えていくのかを明確にして、年度当初に改善のための具体的方策を考えて実行することが大切である。サイクルをしっかりと機能させることが重要である。
学校教育活動全般にかかる意見	<p>（地域との連携について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域との結びつきを深めるためには、地域住民が学校を見る機会があるとよい。コロナ禍で難しいかもしれないが、学校の施設を地域住民が利用できる機会を増やすことを考える。 ○小学校の学校行事での施設利用を検討する。 <p>（デジタルトランスフォーメーションへの対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちのICT能力は大人よりはるかに先に進んでいる。生徒にしっかりとiPadを活用させる。 ○コロナ禍で蓄積されたオンライン教育に係る知見を活かして、ハイブリッド型（対面型とオンライン型をうまく組み合わせる）の教育活動を展開する。 <p>（LGBTへの対応について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○選択肢を用意して、生徒・保護者に選ばせるという手法をとる。

【改善方策】

○改善策について優先順位を定めて、年度当初に当該年度中に実施可能な改善策を考えて、その実施に取り組むことでPDCAサイクルを機能させる。

○次年度に向けて、中期重点計画との関係を明らかにして課題を整理し、学校評価を行う。

○生徒・保護者アンケートの意見を踏まえて、変えるべき点があれば速やかに変更を加える。